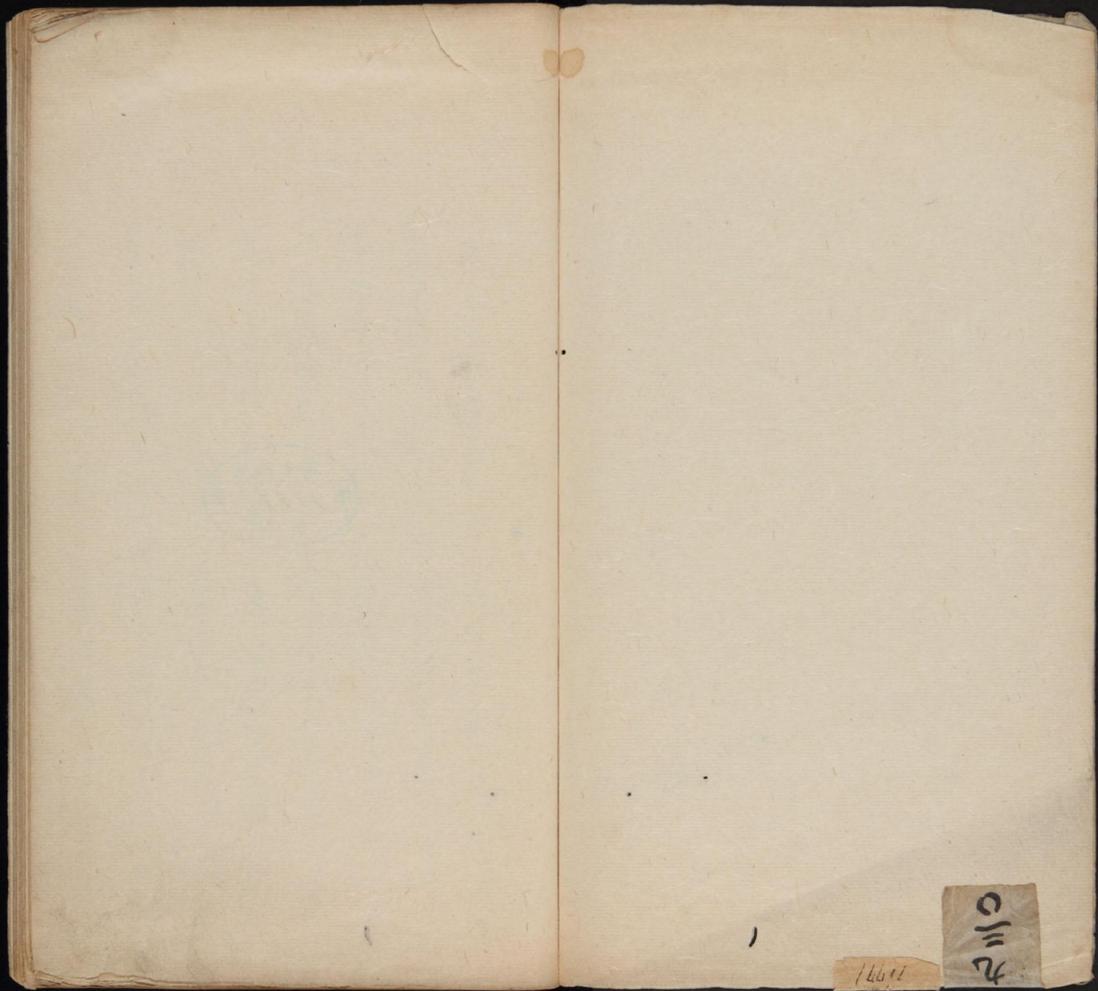


027  
421  
/

よ  
れ  
冬  
の  
記





九三〇

14971







之海の奥をこちち

五口おつちつたよまきをひてひやうこふそは肉のうへつち  
父鬼とつりつり里まてつつちあて草房修男ハこつち  
帰ら云屋のつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち  
事あわねあつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち  
こつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち  
はははははははははははははははははははははははははははは  
りてはははははははははははははははははははははははははは

海をこちちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち

中殿燈塔竹裏言ここの國れをうせのつちつちつちつちつち  
つちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち

つちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち  
つちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち

つちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち  
つちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち

寺はつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつちつち











月... 花

の... 花

... 花

と... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花

... 花







堂の人の向ふはまゝにまゝに物ほかまゝにまゝに  
居るに歸すを布一箇の往もまゝにゆ丸丸の  
塚の福師まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

十日高きまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに  
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

作教ハ毎福寺の刊れ事なまゝにまゝにまゝに



ぬつとこらもめいじよは暮らえくう 春田後とこの  
寺とは 1900年10月1日の事  
おかしきものなり 1900年10月1日の事  
曼坂の塚の事なり 1900年10月1日の事  
ちんちんちんちんちんちん

此一冊は先達の遺言に依りての日記なり 此  
一冊の作はつてての経年なり 1900年10月1日の事  
ちんちんちんちんちんちん 乃 此一冊の  
事なり

ちんちんちんちん

